

# 竹ノ塚教会礼拝レポート

天基2年天曆7月15 陽曆8月14日(日)



## 朴聖熙教会長 『お盆と氏族メシヤ』

本日も暑い日差しが照りつける日曜日、聖歌隊による讃美で今日も礼拝が始まりました。最初の曲は『み旨応援歌』です。暑さに負けず、汗を流しながら力強くみ旨を歩みましょう！と手拍子をしながら元気よく讃美しました。続いて天一国国歌、『聖歌4番～栄光の賜物～』讃美に続き、天地人真の父母様に敬拝をおささげし、家庭盟誓2節を唱和し、鳥居恭子エリア長による代表祈祷がささげられました。続いてお誕生日を迎えられる方と本日初めて礼拝に参加された皆様にお花と歌のプレゼントが聖歌隊の子供達から手渡され、みんなで歓迎とお祝いをしました。今週の週間ブリーフィングでは、先日天地人真の父母様が天和宮で行われました第21回七・一節 第15回七・八節の様子が紹介されました。引き続き平和大使の任命式が行われ、新たに9名の方が、人類の悠久なる願いである平和統一世界の実現に貢献することを誓い平和大使に任命されました。最後に『天一国』を讃美し、朴聖熙教会長をお迎えしてみ言をいただきました。

説教者：朴聖熙教会長『お盆と氏族メシヤ』

み言訓読「平和神経より 霊人体と肉身の関係」

「本日平和大使の任命がありました。これまでカイン圏の平和のために歩む方々が平和大使として任命されましたが、実は私達食口こそが、平和の為に真の父母様と共に歩む平和大使であると思います。誰よりも母国日本を愛し、世界の為に生きているのです。

メシヤという内容は救い主という意味です。人類歴史はメシヤを迎えるため善と悪を分立する歴史でした。イエス様は第2のアダムとして人類のメシヤとして来られましたが、2000年間準備したイスラエル民族はイエス様を迎えることができませんでした。イエス様は十字架にかかって亡くなられましたが、イエス様は霊的に復活して40日間、弟子たちを復帰して悔い改めさせ、新しく出発させました。これが現在までに至るキリスト教の出発でありました。

そして第3のアダムとして来られた再臨主、真の父母様は新しいみ言をもってこられました。受け入れることができず、キリスト教は統一教会を迫害するのです。

真の父母様は私達を“氏族メシヤ”として任命してくださいました。それは祝福中の祝福です。メシヤとはみ言をもってくるのです。墮落によって失ってしまったみ言を探し出してくるのです。

私達はみ言を学んだ土台の上で氏族メシヤとして任命を受けているのです。第4のアダムとして選ばれた立場です。

氏族メシヤは、地上・現在の代表です。私達が氏族を愛し救うことにより、霊界にいる先祖の皆様が喜び、協助してくださいます。霊界の先祖様は肉身がありません。ですから肉身をもっている地上の私達と共に活動されるのです。

お盆という伝統は素晴らしいと思います。先祖を大切にす貴い文化であります。韓国では秋夕(チュソク)があります。韓国のチュソクは先祖様とともに神様に捧げるという意味が込められています。

先祖の中でもいろいろな方がいらっしゃいます。この中の誰ひとりでも欠けたら私と言う存在はないのです。ですから私達は先祖の皆様本当に感謝すべきであります。特にお盆のこの時は先祖を特に強く意識する日です。貴い日であります。

人間が死んだ日は霊界に行く誕生日です。地上で言う命日は霊界では誕生日です。ですから命日には霊人たちは地上に訪ねてきます。霊界における誕生日である命日だけは自由に行ったり来たりできる日なのです。本当は常に霊界を意識する生活をしなければなりません、特にお盆という期間は強く意識するのです。この時こそ氏族メシヤとして活動すべきです。地上のわれわれは氏族メシヤとして地上の氏族を伝道しなければなりません。自然万物を愛し、人を愛し、霊界の先祖の皆様を愛し解放すること。これはすなわち神様を解放することになるのです。

神様は地上で苦勞している食口の姿をご覧になられてとても胸を痛めていらっしゃいます。神様は常に私達と共にいらっしゃいます。神様には形がありません。神様と会いたいなら真の父母様を見つけてください。真の父母様のお写真をいつももって出かけましょう。

私達が統一教会に来ることができたのは、先祖の皆様のご功勞があつてきているのです。その恩恵に感謝して、私達は一生懸命精誠を尽くして、氏族メシヤとしてみ旨を歩んでいきましょう」。

本日はお盆の期間ということもあつて、参加者全員で先祖を思い、霊界と地上界が一つになってみ旨を成し遂げようという決意を込めて全体祈禱を捧げ、力づくよく聖歌2番を讃美し礼拝が終了しました。



